

環境保全

日本曹達グループは、省エネルギー、温室効果ガスの排出量削減、省資源、産業廃棄物の排出量削減、リサイクル、有害物質の排出量削減、生物多様性・生態系への影響の低減に努め、事業活動における環境影響を最小にするよう環境保全活動を行っています。

基本的姿勢

- 環境汚染防止、法規制の遵守などへの取り組みを継続。
- 事業活動に伴う環境負荷の低減（地球温暖化防止、廃棄物排出量と最終埋立処分量の削減）。
- 環境負荷の低い製品およびプロセスの開発。
- 環境マネジメントシステムを導入。生産性を維持しながらエネルギー使用量を削減。
- 水資源の保全。
- 生物多様性・生態系への影響の低減。

環境保全

気候変動への対応

地球温暖化防止に向けた取り組みは、重要な課題です。日本曹達は、一般社団法人日本経済団体連合会が自主的に取り組んでいる「低炭素社会実行計画」に参加し、CO₂排出量の削減目標達成に向け、省エネルギーを推進しています。

▶ エネルギー使用量、および温室効果ガス（GHG）排出量の削減

長経年機器の高効率機器への更新、生産工程の合理化や省力化、節電対策など、エネルギーの使用に係る原単位の改善を進めています。また、環境省の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」などを参考に、自社の活動による温室効果ガス排出（スコープ1、スコープ2）と自社の活動範囲外での間接的排出（スコープ3）について算出し、バリューチェーン全体での排出削減への取り組みを進めていきます。

サプライチェーンを通じた温室効果ガスの排出

Scope 1排出量	66,595t-CO ₂	Scope 2排出量	119,472t-CO ₂
Scope 3 排出量			
購入原料・サービス	144,515t-CO ₂	輸送、配送（下流）	算出していません
資本財	12,978t-CO ₂	販売した製品の加工	算出していません
Scope 1、2に含まれない燃料など	なし	販売した製品の廃棄	算出していません
輸送、配送（上流）	31,669t-CO ₂	販売した製品の使用	算出していません
事業から出る廃棄物	算出していません	リース資産（下流）	なし
出張	355t-CO ₂	フランチャイズ	なし
雇用者の通勤	259t-CO ₂	投資	算出していません
リース資産（上流）	なし		

※出所：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.0）」をもとに、数値を算出しています。